

Bluetooth SIG認証について 取得方法 & 代行機関へ依頼のススメ

ハートテクノロジーズ株式会社

大森 正



Bluetooth SIG認証とは？

- **Bluetooth SIG認証とは？**

開発している製品が「**Bluetooth**対応製品」であることを表記するために必要な**認証**のこと。この認証を取得しなければ、**Bluetooth**対応製品であることを製品に表記することや、**Bluetooth**マークを使うこともできない。

- **Bluetooth SIG認証は取得必要？**

たとえ**Bluetooth**マークを商品に使用しないとしても **Bluetooth**搭載商品は、**Bluetooth SIG**認証は必ず取得しなければならない。(誤解している方が多い)

- **Bluetooth SIGとは？**

Bluetooth SIGとは、Bluetooth Special Interest Groupの略。
1998年9月に設立された非営利の非営利法人。



SIG認証の考え方

- 最終製品登録が必要 理由:Bluetoothの技術がBluetooth SIGでライセンス管理されているので、Bluetoothの技術を使用する製品はBluetooth SIG認証が必要。
Bluetooth機器を販売するには、Bluetooth SIGから技術利用ライセンスを取得する必要がある。
- Bluetooth Membership Agreementでのライセンス条件
 - ①Bluetooth製品を販売する企業はBluetoothSIGメンバーへ加入すること。
 - ②Bluetooth製品は、Bluetooth Qualification Program=BQPを履行する。→認証手続きのこと。
- BLEモジュールとしてのSIG認証は必須ではない。最終製品としての認証が必要。
一般にはBLEモジュール自体がSIG認証とれているのが普通。

Bluetooth SIG認証取得は有料

SIG認証取得のことを、**製品登録 (Product Listing)**と呼ぶ。

(以前はEPL登録という名称であった)

製品登録の際に、登録費 (**Declaration Fee**) を支払う必要がある。

(**2014年2月以降有料**になった。)

その後、派生製品の追加製品登録は無料。

自社の登録済デザインの下に、製品登録する場合も無料。



製品登録の概要

- 市場で販売するBluetooth製品は全て製品登録という行為が必要
- 登録料を支払い「Declaration ID = DIDと呼ぶ」を取得する
- DIDの購入費（登録料）はBluetooth SIGのメンバーシップレベルによって異なる。

Adopterメンバー:\$8,000／製品

Associateメンバー:\$4,000／製品

→2022年から20%値上げ

Bluetooth SIGメンバーについて

プロモーターメンバー →現時点でこのメンバーにはなれない

アソシエイトメンバー →会費有料 以下の会費2022年から20%値上げ

年会費7,500ドル(年商100万ドル未満)、35,000ドル(年商100万ドル以上)

SIG認証におけるDID取得代金 4,000ドル

アダプターメンバー →会費無料

SIG認証におけるDID取得料金 8,000ドル

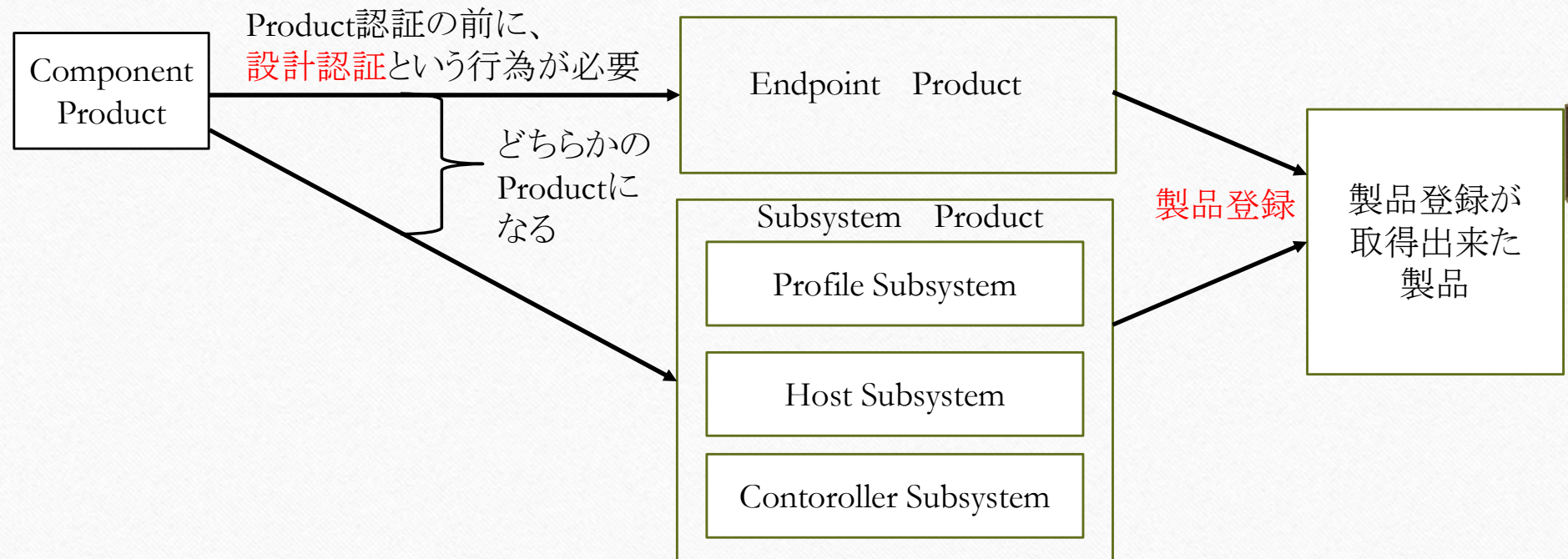
年間2機種以上のSIG認証でのDID取得が必要な場合は、アソシエイトメンバーになったほうが得！



SIG認証にあたってのProductの定義

- Bluetooth SIG認証において出てくるProductは以下がある。認証取得出来ているProductには必ずQDID (Qualified Design ID) というものが取得出来ている。
- Component Product →主にBluetoothのチップの場合(モジュールでは無い)
- Subsystem Product →主にBluetoothのモジュールの場合
 - Controller Subsystem
 - Host Subsystem
 - Profile Subsystem
- Endpoint Product →主にBluetoothのモジュールの場合

製品登録取得の仕方



モジュールなどがSIG認証とれているか 確認方法

- SIG認証がとれているかは以下で調べられる。
→<https://launchstudio.Bluetooth.com/Listings/Search>

設計認証にあたって試験が必要な場合がある

- BLEモジュールで認証がとれている場合は、製品としては試験不要。
アンテナ変更などが無いことが条件。
- 登録は必要
- BLEモジュールでなく、BLEチップの場合は設計認証において試験が必要な可能性が高い。

SIG登録作業について

- 書類が非常に面倒。メーカーで行うこともできるが、登録を誤り、結果DID費用が無駄になるケースがある。
- **BQC** = (Bluetooth SIG公認のエキスパートであり、Bluetooth SIG認証における製品認証プロセスの評価サポートを行える人)
がいるBluetooth SIG認証取得代行機関に依頼した方が良い。

BQCがいる日本の主な代行機関

日本の代行機関は以下3社

- アリオン
 - TÜV Rheinland
 - UL Japan
-
- 相見積もりを取った方が良い・・・